

「ノボリコ大きい」

日南・酒谷川

親子ら伝統漁法学ぶ

23.5.20
安田

伝統を継承する大切さを河川への美化意識高揚を目的に



こも案外捕れて驚いた。普段は川で遊ぶのは禁止されているので楽しかったと喜んでいました。

小山博孝 蒼賀は「濁水で川の水

県総合博物館 講座「ノボリコ漁を体験する子供たち

目南市の酒谷川で、県総合博物館講座「酒谷川のノボリコ漁生き物」が14日あった。東光寺橋東側河川敷に集まった親子ら約60人が伝統漁法のノボリコ漁を体験し、川の生き物を観察

した。毎年開いている。ノボリコ漁保存会の那須義孝代表ら地元講師が、網の仕掛け方などを説明。参加者は川底の石をくわでならし、幅2.5メートル、長さ5.5メートルの敷網を2カ所設置した。

網を上げるまでの約4時間、参加者は昼食をほさんで、手網などで川にせむエビやカニ、貝、小魚などを捕まえ、博物館の学芸員らが名前や特徴などを説明した。午後2時すぎに網を上げると、少ないものの漁獲があり、子供たちは「いたい、たい」と歓声を上げていた。都城市・五十市小5年、宮崎開君(10)は「ハゼやコを捕まえた。ノボリ

が少なく、開網できるから配したが無事に済んで良かった。子供たちには体験を通じて「自然に親しんでほしい」と話していた。